



どれも全て無料です。お気軽にお問い合わせください。

資料請求

個別相談

施設紹介

施設見学

北河内地域中心（寝屋川市・枚方市・交野市・守口市・門真市・大東市・四條畷市）

高こう 齢者住 じゅう まいの相談 センター

最近の相談事例より

なごみ通信

第98号
2020年6月

「一人暮らしのお父様」

毎日のように近所のショッピングモールに出かけ、ランチされるのを日課にされていました。

ところが、コロナ禍が・・・

ショッピングモールが休業になりました。

外出することが、極端に減り、足腰が弱ってこられました。それとともに、精神面での不安も・・・一人暮らしを続けることが難しくなり、老人ホーム探しの相談がありました。

「娘さん宅近くの地図を作成」

娘さんの近くで、

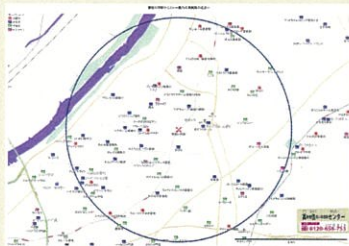
とのご要望があり、娘さんの

嫁ぎ先から半径

3キロ内の老人

ホーム分布図を

作成しました。



その地図を見て、ご要望をお聴きしながら、見学先の絞り込みです。予算やレクリエーション・リハビリ対応などから、見学先を2ホームに絞りました。

「見学同行しました」

ご本人・娘さんと見学しました。高住センターで、見学の予約を入れ、高住センターの車で、お迎えに行き、2ホームの見学をしました。総合的に検討し、そのうちの一つに決められました。私たち「高住センター」では、このようにホーム探しのお手伝いをしています。

相談や見学など、すべて無料で行っていただけますので、お気軽にお問合せください。



座談勉強会からのお知らせ

座談勉強会は、新型コロナウイルスの為、当分の間、お休みします。



高齢者住まいの相談センター

「高住（こうじゅう）センター」（相松・大谷・寺西・小堀）

〒572-8505 大阪府寝屋川市大成町1番1号

高住センター



高住センター Facebook

お気軽にご相談ください

ろうごは なごみ

0120-658-753

FAX 072-824-1110

ますます増える『サ高住』

前回のなごみ通信では、『サ高住の誤解』として、2つのお話をしました。（バックナンバーは、ホームページからご覧いただけます。）

今回は、『サ高住の基準』についてのお話です。

● 基準その1 ●

サ高住の設備基準！

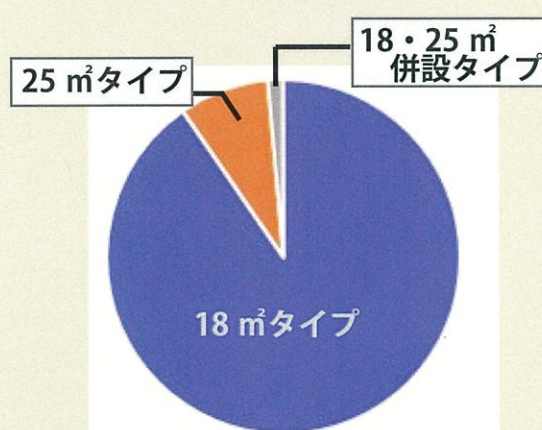
原則的には、居室面積は、25㎡以上。その居室内に、トイレ・洗面・収納・浴室・キッチンが必要です。

ただし、収納・浴室・キッチンが共用で使える場合は、居室面積は、18㎡でも可です。

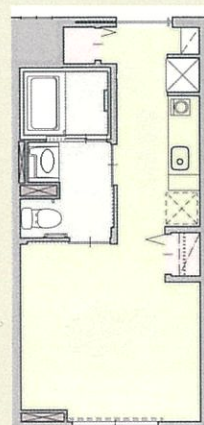
実際には、多くのサ高住では、浴室とキッチンを共用とし、18㎡の居室にトイレ・洗面・収納を配置しています。また、共用キッチンではなく、居室内にキッチンを設置したサ高住もあります。

25㎡タイプと18㎡タイプの違いについては、右下の図面をご覧ください。

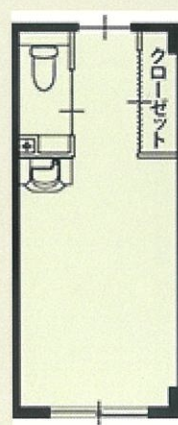
北河内地域のサ高住タイプ



北河内地域にあるサ高住は、左のグラフからも分かるように、18㎡タイプのサ高住が9割を占めています。18㎡・25㎡併設タイプとは、同一建物内に、18㎡タイプと25㎡タイプの居室があるサ高住です。



【25㎡タイプ】



【18㎡タイプ】

● 基準その2 ●

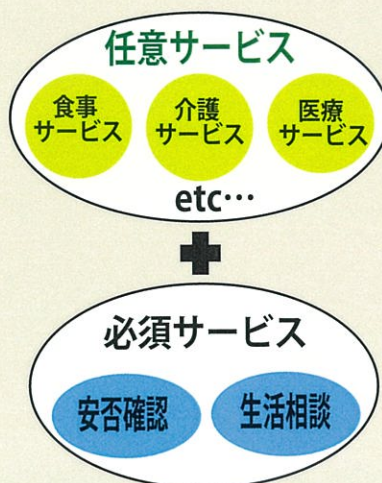
サ高住の人員基準！

前号でも説明しましたが、サービス付き高齢者向け住宅の必須サービスは『安否確認』と『生活相談』だけです。サ高住では、その必須サービスを行うためのケアの専門家が、日中常駐する必要があります。

必須サービスだけで運営されているサ高住であれば、人員配置は、日中一人だけということもあります。

ただし、実際には、必須サービスに加え、任意サービスとして、食事・介護・医療などのサービス提供をされているサ高住がほとんどです。

そのため、それぞれのサービスに必要な人員を各サ高住の考えにより配置されています。



f 高住センター Facebook

高齢者住宅をご紹介する中での気づきや感じたこと考えたことなどを綴っています。

高住センター フェイスブック 検索

高齢者住まいの相談センター

「高住（こうじゅう）センター」（相松・大谷・寺西・小堀）

〒572-8505 大阪府寝屋川市大成町1番1号

高住センター

※ 前田組

※ マイナースト

フリーダイヤルまでお気軽にお電話ください

ろうごは なごみ
0120-658-753
FAX 072-824-1110